

2023年8月8日

メディア各位

**高齢者施設にて、シニア世代向け自分史『はるメモリー』制作イベント開催中！
思い出を語る顔は輝き、周りの職員とのコミュニケーションが変化！**

2023年4月にシールと言葉で作る『はるメモリー』を発売した「コトブミ製作所」(所在地：大阪府豊中市春日町3-10-36 代表：千葉紀子 チバノリコ)は、地元の有料老人ホームである株式会社ベネッセスタイルケア グランダ緑地公園にて、同上イベントを開催中。入居者を対象とした同イベントは毎週月曜日に行われており、常時8名ほどが参加しノート型冊子のページを作り進めている。イベントの様子は同社ホームページお知らせまたは、「2分間動画でわかる『はるメモリー』」にて。
<https://cocotobumi.com/>

一般的に“自分史”というと、文章が書けないと作れない、お金がかかる、時間がかかる、というイメージだが、『はるメモリー』は違う。138点9枚のシールが思い出を引き出してくれ、冊子にシールを貼ったそばに自分で言葉をサラリと書くだけ。見開き8ページ分を作り進めると、思い出が詰まった“自分史”の完成だ。施設でもこの「自分で簡単に作れる」という特徴を活かして、時に集中して、時に会話も挟みながら、入居者が自分のペースで自由に作る姿が見られる。

「家族・人の思い出」のページに、スーツ姿の男性のシールを貼り「お父さん」と書いた女性は、教員だった父親の思い出を耀く顔で語る。監修者の作業療法士・医学博士 松下太先生は、『シールが思い出を引き出す役割を果たし、思い出した経験を言葉にして冊子に書くという作業は、体験を振り返り整理する意味を持つ。ご自身の人生を再確認し、現在の自分も肯定的に受け入れやすくなる』とコメント。

周囲へのよい影響も忘れてはならない。冊子を通してその方の生きてきた背景や経験を知ると、その方の行動や会話に理解が深まり、プラスのコミュニケーションが生まれる。シニア世代と周囲の笑顔を生み出す『はるメモリー』制作イベントの様子を知っていただければと思い、リリースさせていただきました。お取り計らいのほどよろしく願いいたします。

コトブミ製作所ホームページ

<https://cocotobumi.com/>



このリリースに関するお問い合わせ
No.2302

コトブミ製作所

電話：050-3749-5523

mail：info@cocotobumi.com

担当：千葉 紀子(チバノリコ)